

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	ももたろうの郷ひなた苑
日付	平成17年12月13日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年、介護支援専門員歴3年 在宅介護支援センター等での相談援助歴13年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<p>・ホームは自然に恵まれた場所に立地しています。周囲には、小学校をはじめ、公民館、市役所支所、交番などの公共施設も存在し、地域の見守りを受けながら安全に生活できる環境です。</p> <p>・ホームは大きな中庭を中心とした建物で、窓も大きく開放的です。外部から自由に訪問できるよう、門扉と玄関はいつも開放されています。</p> <p>・全ての職員は、「職員同士の和」が入居者の気持ちの安定につながることを理解しており、調和を図るよう努めています。</p> <p>・昨年の外部評価で要改善項目(理念の掲示、トイレ介助時のエプロン、歯ブラシの保管方法など)は改善されており、さらに、個別に寄り添うケアの徹底に積極的に取り組まれていました。</p>
特に改善の余地があると思われる点
<p>事務所内は、各書式類が整理整頓されていましたが、気づいた点を提案させていただきます。</p> <p>・ヒヤリハット・事故対策記録など、細かく記載されていましたが、原因や対応及び対策について、一貫性を持って検討していけるような書式の工夫をしてみてもいいでしょうか。</p>

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
	<p>・スタッフも入居者も明るく、楽しく過ごせるように努力されています。</p> <p>・入居者の話に耳を傾けて、一生懸命聴くことを大切にされています。</p> <p>・寄り添いながら、しかし、「うっとしい感じをもたれない距離」を、個別に考えて接するようにされています。</p>		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。		
	<p>・昔の経験(裁縫・花の手入れ・家事・野菜作りなど)を大切に、入居者がその経験を生活の中で活かせるように支援されています。</p> <p>・排泄時の誘導は耳元でそっと、声をかけるようにしています。</p> <p>・入居者の話は他の人に聞かれないように事務所内でしています。</p> <p>・面会簿の記入は、個人情報保護の観点から家族の氏名のみを記入にしています。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
	<p>・共用空間に大きなソファを置き、くつろぎ、寄り添える場を作っています。</p> <p>・職員は、入居者の嗜好などの情報を、本人を含め家族からも積極的に収集するとともに理解を深めようと努力しており、入居者より打ち解けた関係を築こうとする姿勢が感じられました。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<p>・サービスの質の向上に向けて、できるだけ多くの職員が研修に参加できる体制をとっています。</p> <p>・研修に参加した管理者が報告会をしたり、職員間で勉強会をしたり、自己研修することを勧めています。</p> <p>・ヒヤリハットを基にして話し合いを行い、今後の対策・改善策を考えています。</p>		